

土漠の讃岐を変えた人々



空海

絵本山善通寺蔵

郷土の先人の功績や思想、文化を学び直すリレー・シンポ「輝ける讃岐人(びと)」、第2回は讃岐砂漠を救った水の恩人・空海と西嶋八兵衛を取り上げる。

善通寺市に生まれた空海。宗教家・思想家で、文人、能書家、土木事業家。唐(中国)の青龍寺で密教の伝授を受けて帰国。真言宗をひらき、金剛峯寺と東寺を中心に宗教活動を行った。821年には嵯峨天皇の命により満濃池を大規模改築し、さらに庶民の学校の創立、様々な社会福祉活動を行うなど、後世に多大な影響を与えている。

大地震や大干ばつなど天災が相次いだ讃岐に1626(寛永3)年、伊勢の津藩から派遣された西嶋八兵衛は、被害の復旧に努めると同時に農業用水確保のため、90か所ものため池を各地に築造。特に、空海の改修以来、荒れ果てていた満濃池をかさ上げして復旧し、3万6000石の増収をもたらしたほか、河川改修、治水事業、新田開発を盛んに行い、生駒藩の殖産と財政を確立した。



西嶋八兵衛

個人蔵、香川県立ミュージアム提供

日時 令和4年5月22日(日) 開場▶12:30 開演▶13:00

会場 能楽堂ホール ^{ナイン}tenjin9 (岡山市北区天神町9-24)定員 150名(会場先着順) **入場無料**

新型コロナウイルスの状況により、定員は前後する可能性があります。



講師

大阪府立狭山池博物館名誉館長
工楽善通 (くらくよしゆき)

専門は先史考古学で、特にアジアの稲作史の研究を続けている。大阪府立狭山池博物館へ着任後は狭山池築造の背景を探りながら、古代以来の水利・灌がいとその土木技術を東アジア的視野に立って調査している。1964年明治大学大学院修了。著書に『水田の考古学』など、共著に『農耕の起源と拡散』など。

演題 「稲作と灌がい用水を求めて」

香川地理学会理事
木下晴一 (きのした せいいち)

専門は歴史地理学で、埋蔵文化財に関わる業務に従事する傍ら、地形などの空間的な情報を重視した歴史研究を行ってきた。特にため池などの灌がいを中心とした土地開発の歴史に関心を持ち研究を続けている。1988年同志社大学大学院修了。同年香川県庁入庁。著書に『古代日本の河川灌漑』など。

演題 「限られた水資源の活用
—空海と西嶋八兵衛の事績—」

お問い合わせ先

(公財)山陽放送学術文化・スポーツ振興財団

e-mail sanyohoso-zaidan@rsk.co.jp
TEL 086-225-5225 FAX 086-225-5525

新型コロナ対策 岡山県の基準に沿った対策を実施します。ご協力をお願いします。

- 来場者のマスクの義務化(各自ご持参ください)
- 37.5度以上の熱、風邪症状のある方は入館をお断りします(同居家族含む)。
- その他詳しくは、財団ホームページに掲載しています。

第4回予告

内海保護の立役者 **小西和・田村剛**令和4年7月10日(日)
能楽堂ホール tenjin9